

(別添) 令和7年度「くらしふとカンファレンス2026」運営業務プロポーザル審査基準

審査項目		審査内容	配点	
提案内容	運営等のコンセプト	・全体を通して提案内容がイベントの開催趣旨に照らして的確であり、効果的であるか。 ・ゼロカーボンシフトに向けた新しいモデルとなりうる要素が取り入れられているか。	10	70
	広報戦略・発信	・多様なステークホルダーにとって魅力的な広報になっているか。 ・カンファレンスへの誘客だけではなく、「くらしふと信州」の認知度向上や参加登録者増加につながる工夫がなされているか。	20	
	カンファレンス・交流会の運営	・参加者間の対話と共創を生む工夫がされているか。 ・その場限りではなく、カンファレンス後のゼロカーボンアクションやコミュニティをつくっていくことを意識した工夫がなされているか。	20	
	運営及び参加者のゼロカーボンシフト	・開催にあたり排出される温室効果ガスの相殺等、イベント全体のゼロカーボンシフトに向けた工夫がなされているか。 ・参加者がカンファレンス参加によって、行動変容につながるヒントを得たり、きっかけとなる体験ができる工夫がなされているか。	20	
	業務の実績・経験	・類似業務の履行実績などから、各業務の運営を円滑に行うことが期待できるか。	10	20
	業務の実施体制及びスケジュール	・運営スタッフの配置や業務管理の体制が適切か。 ・事業計画が明確であり、確実な実施が可能であるか。	10	
業務に要する経費	費用対効果	・業務内容に対して必要な経費が適切に見積もられ、事業内容や効果等から見て適切な範囲内であるととともに、予定額の範囲内であるか。	10	10
合 計			100	